



今月の
特集

守るで!
わがまち!

防災リーダー!



小松地域と菅原地域の
地域活動協議会会長と地域防災リーダーに
お話を伺いました!



子どもたちの防災意識が地域を支える! KOMATSU

小松地域では、年に数回防災訓練を行います。住民の意識が高く、多いときには1,000人以上が参加しています。また、通常の訓練以外にも、地域の特徴として川が2つあるので水害に備えた訓練も行っています。

これからは子どもたちのパワーも借りて、地域で助け合える仕組みを作りたいと考えています。そのひとつとして、3年前から小学校高学年の児童が園児を避難所まで連れていく合同訓練を行っています。また、中学校では、避難訓練だけでなく、高齢者や障がい者など「要配慮者」に対する避難訓練も6年間続けています。



小松地域
地域活動協議会会長
まつやま のぶしげ
松山 信繁 さん

実際に起こって備えの重要性を実感



小松地域
地域防災リーダー隊長
ふくしま よしまさ
福島 吉正 さん

6月18日、地震が起きたときはすでに出勤していて、戻ってこられたのが午後2時でした。避難所を開設する小学校へ駆けつけると前日の訓練の成果もあり、すでに初動体制ができていました。安心すると同時に、防災訓練の重要性を改めて感じました。

普段、防災リーダーは、放水訓練やAEDの講習、応急手当などの防災技術向上のため、消防署の指導を受けたりもしています。また、発災時には、行政と地域をつなぐ連絡網の要として動けるように、トランシーバーを使った通信訓練を積んでいます。

一人ひとりが防災リーダーの気持ちで YUGAHARA

2つの災害を経験し、問題点や要望が出てきたので、地域の防災を進めていきたいと思っています。例えば最寄りの避難所が遠い人は、停電や台風の場合、出歩くこと自体が危険な可能性もあることがわかりました。それに対しては、地域の公園や集会所などに一時避難所を作るなど臨機応変に対応できるようにしたいと考えています。

防災リーダーだけでなく、普段地域にいる町会長がリーダーシップをとることも大事ですし、地域にいる一人ひとりが動けるようになってほしいと思います。



菅原地域
地域活動協議会会長
しらい すえひろ
白井 末廣 さん

広がる防災意識、子ども自身が考える講座を!



菅原地域
地域防災リーダー隊長
つつみした てつや
堤下 哲也 さん

幅広い層に防災の意識をもってもらうため、防災以外の地域の行事にも、可能な限り防災ブースを設置するなどして参加させてもらっています。おかげで防災への関心が高まっているのを感じています。菅原地域は、意識の高い防災リーダーが多く年齢も比較的若めです。これまで防災計画や避難マップ作成など様々な取組を重ねたこともあり、今では町会単独で防災の取組をするようになりました。

リーダーだけが知識を身につけてもしかたがありません。今、期待しているのは屋間に地域にいる中学生です。学校の講座では、自分たちで考え、率先して動く「共助」の意識が生まれるように工夫しています。

大阪市防災アプリを ご利用ください

浸水想定図、避難場所、避難ビルなどの情報をはじめ、災害状況や避難時の注意点、避難するかどうかの判断に役立つ情報などが入手できます。



地域の防災訓練情報

豊新地域
【内 容】避難所開設・運営訓練
【日 時】11月11日(日) 9:00~12:00
【場 所】豊新小学校

【問合せ】安全安心企画 1階 8番 番 4809-9820

区長からひとこと 自分たちのまちは自分たちで守る

今年は、6月の大阪府北部地震に始まり、西日本豪雨、猛暑、台風21号、北海道胆振東部地震、台風24号と、この3~4か月で大きな災害や異常気象が日本列島を襲いました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。災害は「忘れたころにやってくる」と言われていましたが、今は「忘れなくてもやってくる」と肝に銘じておく時代となりました。

大規模な災害では、火災や家屋倒壊などさまざまな被害が広範囲に発生しますが、被害を軽減するため、日頃の備えとお互いに協力しあうことが必要です。各地域では、地域の皆様が集まり、防災・減災という共通の目的を持って、自主防災活動を展開されています。その活動の中心的な役割を担っている地域防災リーダーは、区民が防災に必要な知識や技術を習得するための取組や防災訓練等を日頃から繰り返し行っておられます。また、災害時には初期消火、救出、救護、避難誘導、避難行動要支援者への支援などを行います。

大阪府北部地震や台風21号、台風24号などにおいては、地域防災リーダーをはじめとした地域の自主防災活動により避難所開設や避難者受入を実施していただきました。地域における防災活動の中核的な存在として地域防災力の向上に貢献していただいております。災害時避難所では大勢の人と共同生活を送ることとなり、互いに協力しあい、譲り合うことが大切ですし、円滑な避難所運営には、地域防災リーダーや避難者自らの協力が不可欠ですので、日頃から地域の中でのつながりが重要です。

区民の皆様一人ひとりが、日頃から防災・減災に関する正しい知識の習得や、ご家庭での備蓄などを行っていただくとともに、地域防災リーダーとともに住まいの地域の防災訓練等の防災活動に積極的に参加し、今後起こり得る大規模災害に備えていただきますようお願いいたします。



東淀川区長 北岡 均

広告掲載枠